



SHINKA 2019

課題提起型デジタルカンパニーへ向けて



コニカミノルタ株式会社

2017年度 第2四半期 決算説明会

業績の概要/バイオヘルスケア戦略

代表執行役社長兼CEO 山名 昌衛

常務執行役 畑野 誠司

2017年10月30日

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

2017年度上期 業績サマリー

【億円】

	2017年度 上期	2016年度 上期	前期比	為替の影響を 除いた前期比	2017年度 2Q	2016年度 2Q	前期比	為替の影響を 除いた前期比
売上高	4,881	4,620	+ 6%	+ 1%	2,558	2,328	+ 10%	+ 2%
営業利益	205	185	+ 10%	+ 19%	118	96	+ 22%	+ 12%
<small>親会社の所有者に帰属する</small> 当期利益	135	132	+ 2%		81	69	+ 19%	
為替レート								
USドル	111.06	105.29	5.77		111.03	102.43	8.6	
ユーロ	126.29	118.15	8.14		130.38	114.28	16.1	

売上高

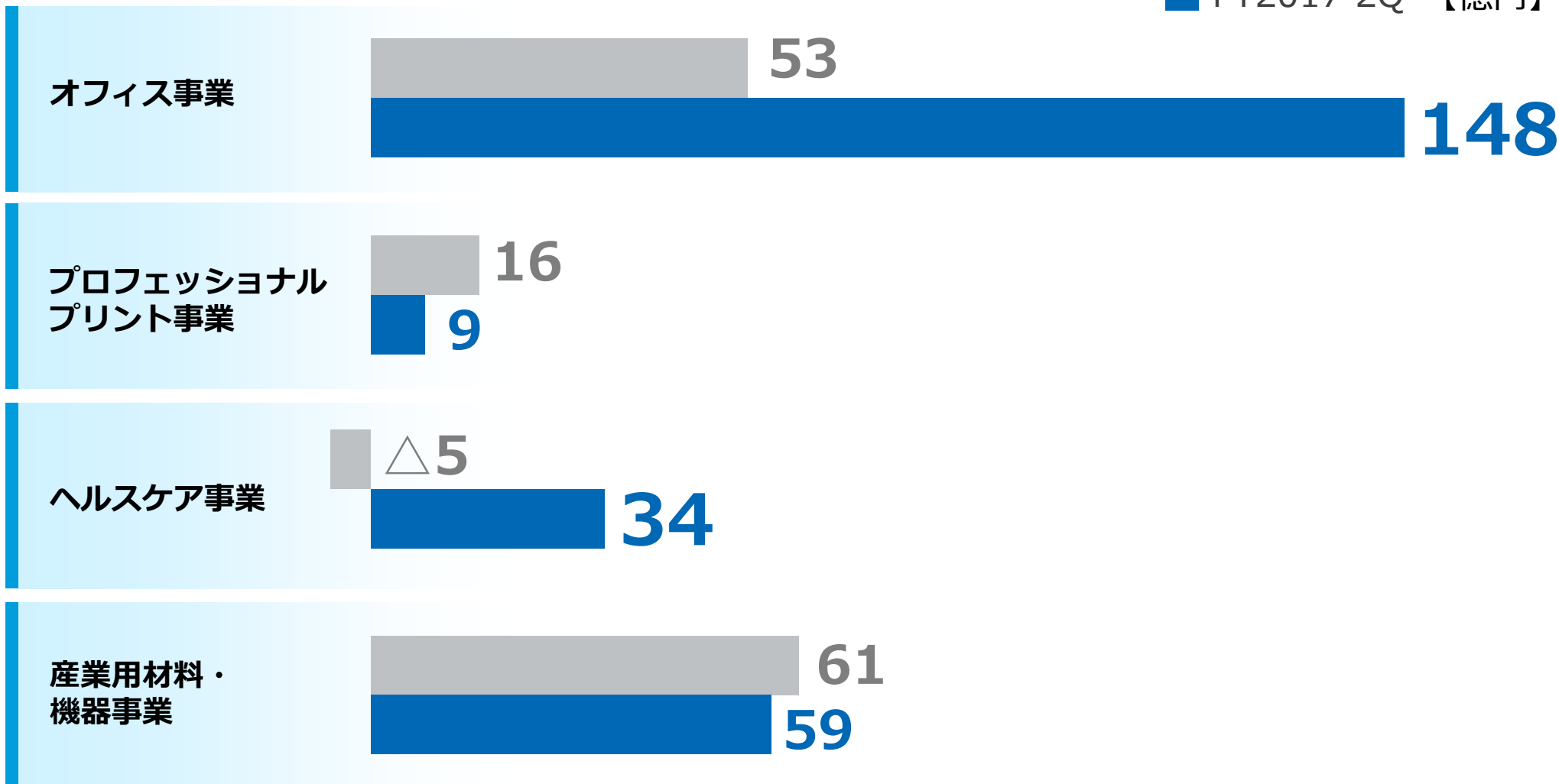
- 全社では対前年6%増、2Qは2ケタ増収。オフィスの欧州販売が回復、北米、中国なども堅調を維持、全ての事業セグメントで増収を達成。産業用・材料機器では計測機器が1Qに続き、大幅増収、機能材料も高付加価値製品の販売数量を伸ばし、1Q比で増収。

営業利益

- 全社では10%の増益。オフィスは販売の拡大に伴う粗利増、固定資産流動化施策も寄与し、前年並みの利益を確保。産業用材料・機器は、1Qに続き、大幅増益。
- 構造改革が想定以上の規模となり、50億円の費用を計上。

2017年度 1Q/2Q セグメント別営業利益

■ FY2017 1Q
■ FY2017 2Q 【億円】



2017年度1Q/2Q オフィス事業 営業利益 増減分析

1Q

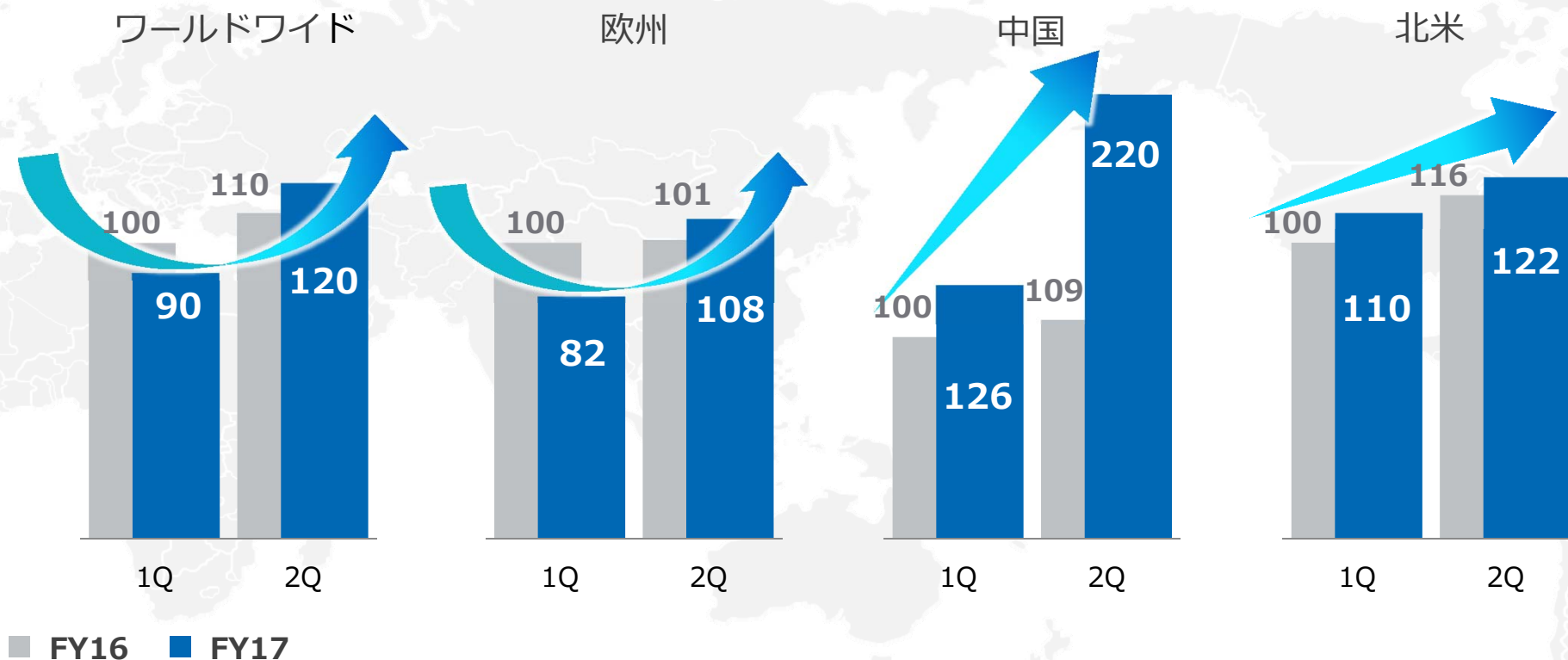
2Q

【億円】



主要地域のA3オフィスカラーMFP販売台数

* 2016年度1Q A3カラー販売台数を100とした場合の指数



2Q販売状況

欧州の販売モメンタムが回復、グローバルでも対前年を上回る販売台数を達成

- 1Q販売不振の欧州のA3カラーの販売台数が前期比プラスに転じる。
- 中国は前期比倍増、北米も好調な販売を継続

2017年度上期 セグメント別売上高

【億円】

	2017年度 上期	2016年度 上期	前期比	為替の影響を 除いた前期比	2017年度 2Q	2016年度 2Q	前期比	為替の影響を 除いた前期比
オフィス事業	2,796	2,688	+ 4%	- 1%	1,465	1,325	+ 11%	+ 1%
プロフェッショナルプリント事業	1,012	971	+ 4%	- 0%	522	496	+ 5%	- 3%
ヘルスケア事業	428	414	+ 3%	+ 1%	233	229	+ 1%	- 2%
産業用材料・機器事業	600	500	+ 20%	+ 17%	313	251	+ 25%	+ 20%
産業用光学システム	232	127	+ 83%	+ 75%	115	57	+ 103%	+ 87%
材料・コンポーネント	368	373	- 1%	- 3%	198	194	+ 2%	- 1%
新規事業・コーポレート他	46	48	- 4%	- 4%	25	26	- 6%	- 6%
全社合計	4,881	4,620	+ 6%	+ 1%	2,558	2,328	+ 10%	+ 2%

2017年度上期 セグメント別営業利益

【億円】

	2017年度 上期	2016年度 上期	前期比	為替の影響を 除いた前期比	2017年度 2Q	2016年度 2Q	前期比	為替の影響を 除いた前期比
オフィス事業	202	217	- 7%	+ 4%	148	103	+ 44%	+ 45%
プロフェッショナルプリント事業	24	43	- 43%	- 54%	9	27	- 68%	- 92%
ヘルスケア事業	29	12	+ 134%	+ 126%	34	10	+ 224%	+ 203%
産業用材料・機器事業	120	64	+ 88%	+ 81%	59	30	+ 95%	+ 88%
新規事業・コーポレート他	△ 170	△ 151	-	-	△ 132	△ 74	-	-
全社合計	205	185	+ 10%	+ 19%	118	96	+ 22%	+12%

2017年度業績見通し

	2017年度 業績見通し（今回）	2017年度 業績見通し（従来）	2016年度 実績	増減	【億円】
売上高	10,000	9,800	9,626	+ 4%	
営業利益	480	460	501	- 4%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	310	300	315	- 2%	
為替レート（円）					
USDollar	105	105	108.38		
ユーロ	120	115	118.79		

通期業績 予想

- 為替レート：ユーロのみ5円円安方向120円に修正。USDollarは105円に据え置く。
- 売上高：上期の進捗及び、為替レートの見直しを考慮して、200億円の増額修正。
- 営業利益：上期の進捗を踏まえ、下期は為替見直し効果、構造改革による固定費削減を織り込む一方、中期の成長に向けた新規事業への先行投資に伴う経費増を考慮し、20億円の増額修正。セグメント利益は上期進捗及び為替見直し影響などを勘案し調整。

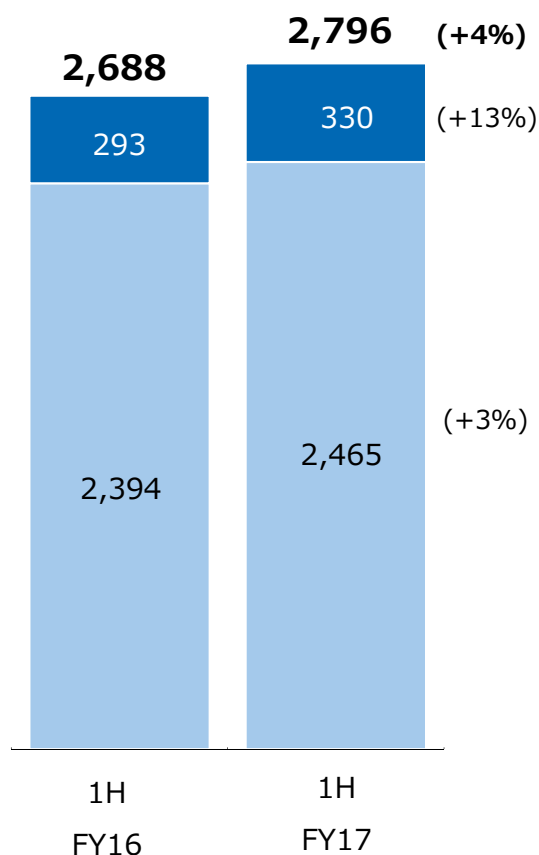
配当予想

- 年間配当:30円/1株（中間配当・期末配当:15円）を据え置く。

売上高

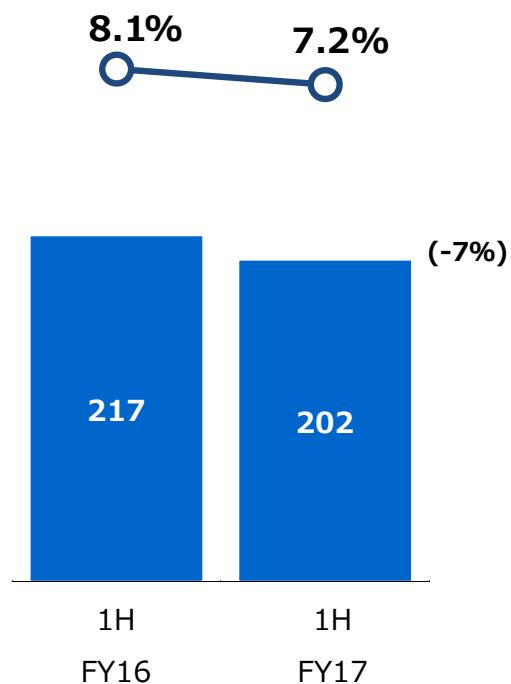
■ ITサービス・ソリューション
■ オフィス

【億円】



営業利益

【億円】



2Qの概況

ITサービスソリューション

- 米国のMFP関連ソリューション、グローバルでの中堅・中小企業向けITインフラ管理サービスが好調。
- ITサービスでは、7月に買収したTLS.NET社のIP電話クラウドサービスを全米展開開始。

オフィス

- 欧州は販売回復施策が奏功し、A3カラー機、A3トータル共に前年比、販売台数増を達成。
- 北米はA3カラー機を中心に好調継続、中国はA3カラー機が倍増、1Q比販売ミックスも改善。
- 海外での固定資産流動化施策を実施。
- OPS売上： 267億円 (前期比:+33%)
GMA売上： 87億円 (前期比:+20%)

1Qの課題に対する回復策

1. 欧州販売回復施策

- 採算重視の方針のもと、中規模顧客、大口顧客へ戦略アプローチ
- カラー高速機拡販で販売ミックス改善
- カラー高速機拡販でPV拡大、ノンハード回復へ

2. 生産出荷調整

- 上期中に在庫水準適正化、調整完了

3. マレーシア生産の原価好転、正常化

- マレーシア生産の原価好転、正常化

回復策の進捗/下期への見通し

<欧州2Q販売状況>

- A3台数（対前年）
カラー +7%増、A3TTL +4%増と1Qより回復。
- 売上高（対前年、現地通貨ベース）
西欧+2%、南欧+4%、北欧+2%、東欧+4%。
- 販売ミックス改善
カラー高速機の対前年販売台数は+12%と増加。
- カラーPV拡大、ノンハード
PV拡大も、ノンハードの売上回復は下期にずれ込む。

<在庫水準適正化>

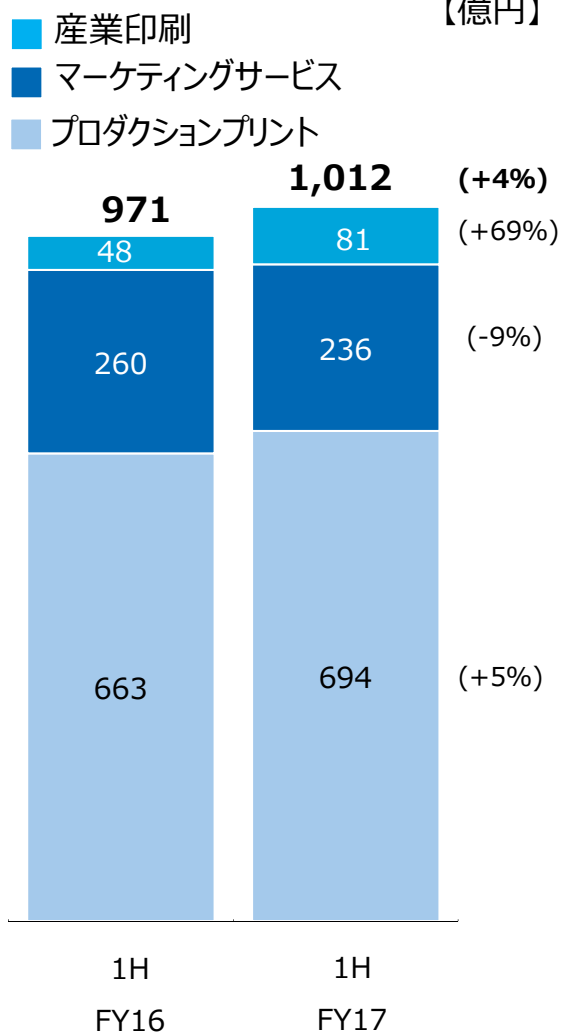
- 在庫回転月数改善
販社在庫、単体在庫が前期比で改善。

<製品原価好転、正常化>

- マレーシア生産での原価好転
生産コストダウンが進みオフィス事業の増益に寄与。

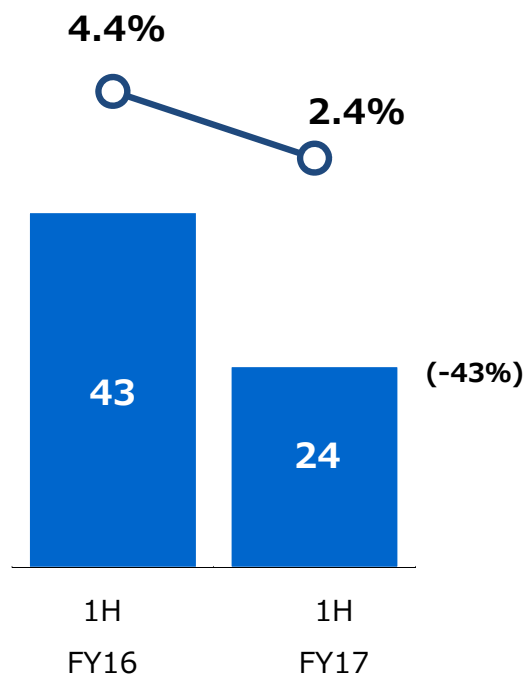
売上高

【億円】



営業利益

【億円】



2Qの概況

産業印刷

- インクジェットデジタル印刷機の「AccurioJet (アキュリオジェット) KM-1」、フランスMGI社製のデジタル加飾印刷機の販売が北米中心に拡大。グローバル展開が進む。

マーケティングサービス

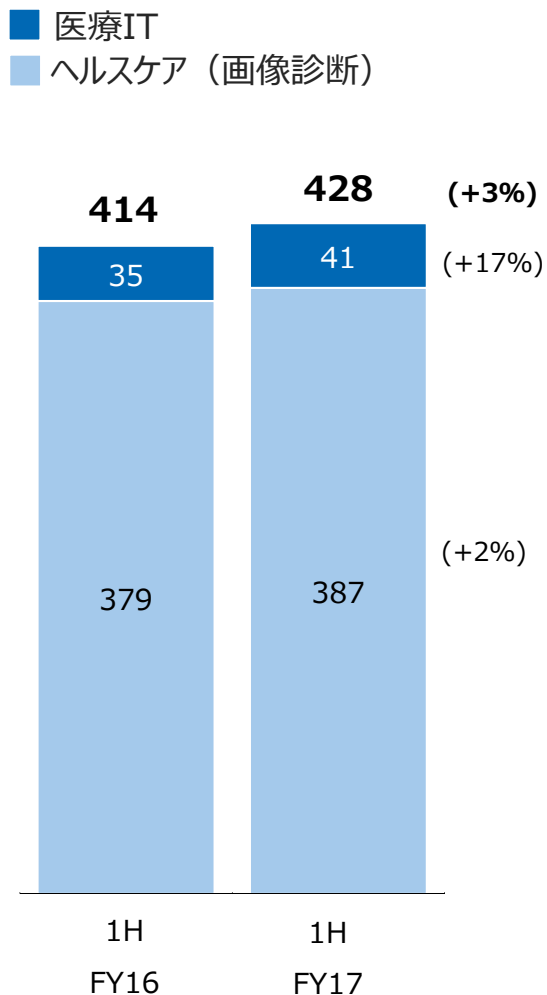
- 大口顧客でのマーケティング費用抑制の影響を受け減収減益も、オーダーは回復基調。
- キンコーズは日韓ともに好調を継続。

プロダクションプリント

- LPP「AccurioPress C2070シリーズ」が欧米を中心に販売を伸ばす。
- 最上位機種「AccurioPress C6100」シリーズを7月に発売。出力調整自動化など独自の仕様が商業印刷顧客に好評。
- 将来機種先行投資により販管費は増加。

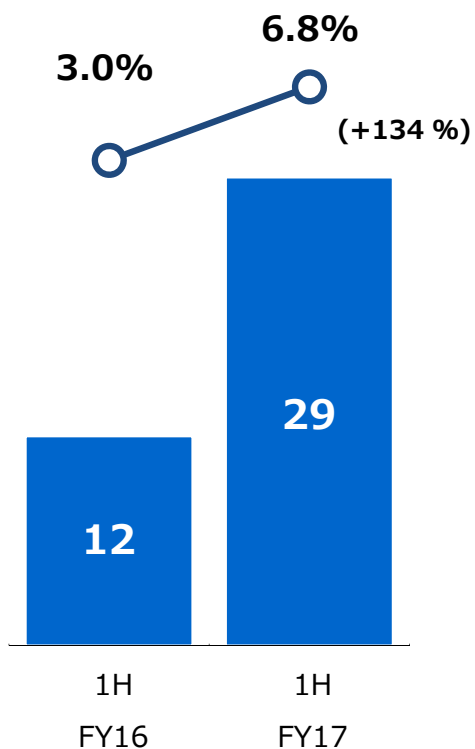
売上高

【億円】



営業利益

【億円】



概況

ヘルスケア (画像診断)

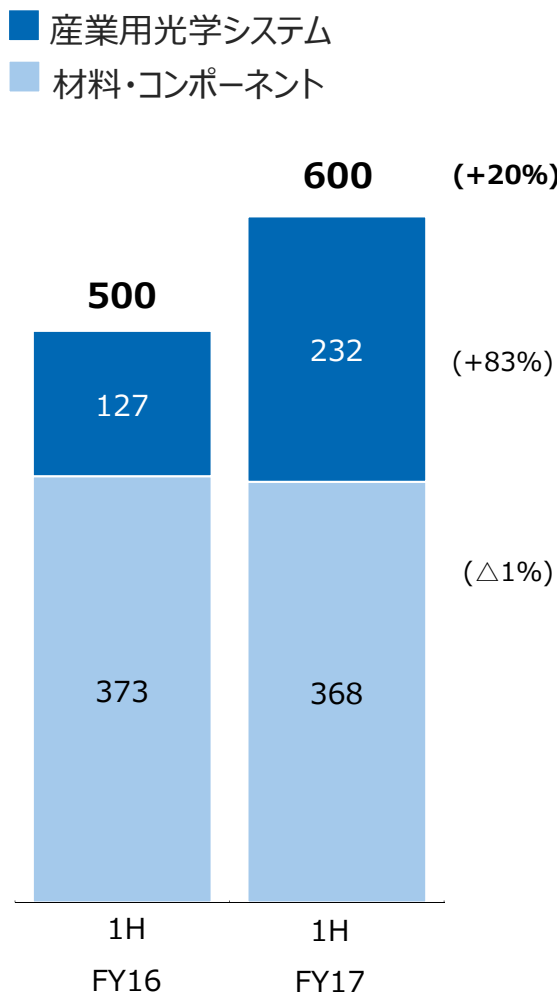
- X線：CR販売数量減少の一方、DRは米国で大型案件獲得を中心に販売数量拡大。
- 超音波製品：日本の販売好調維持。整形外科領域でのジャンルトップ確立に加え、中国でも販売数量拡大。
- 保守契約が順調に伸長。

医療IT

- 米国の販売及び顧客への実装体制強化による効果進捗。
- 保守サービスの売上が順調に拡大。

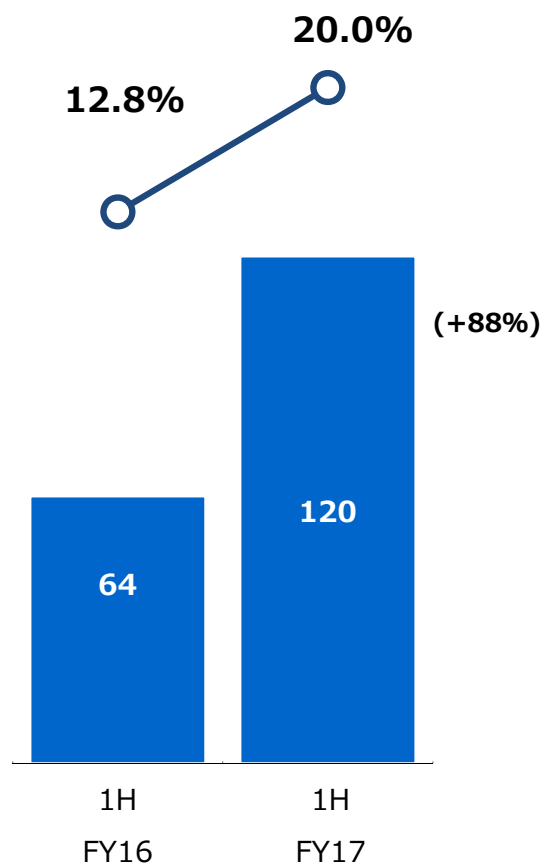
売上高

【億円】



営業利益

【億円】



概況

産業用光学システム

- 計測機器：大手ICT機器メーカー顧客向けビジネスが期間を通して好調を維持。アジア市場でのディスプレイ関連需要拡大も寄与して、大幅増収。

材料・コンポーネント

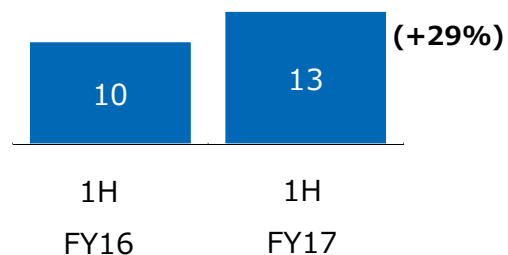
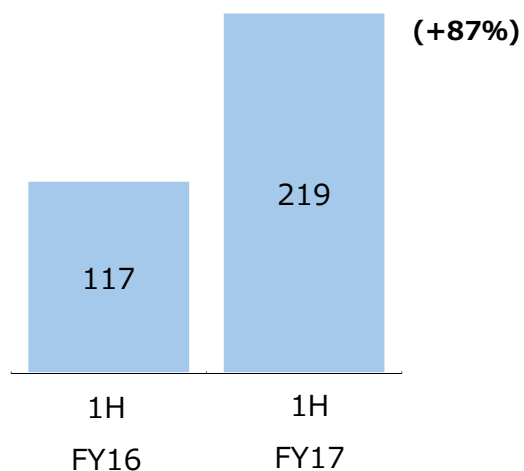
- 機能材料：液晶TV大画面化に伴い、耐水型新VA-TACフィルムやIPS向けZero-TACフィルムなど高付加価値製品の販売数量が伸長したが、価格圧力の影響で若干の減収。
- 光学コンポ：最終製品需要減で減収。
- IJコンポ：欧州/アジアの販売好調で増収。

産業用光学システム & 材料コンポーネント売上推移

産業用光学システム 【億円】

計測機器

映像ソリューション

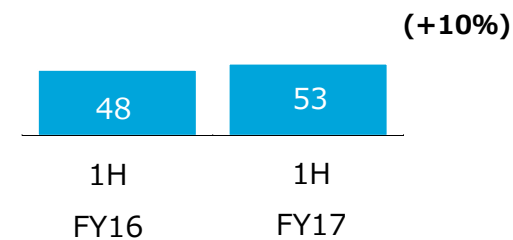
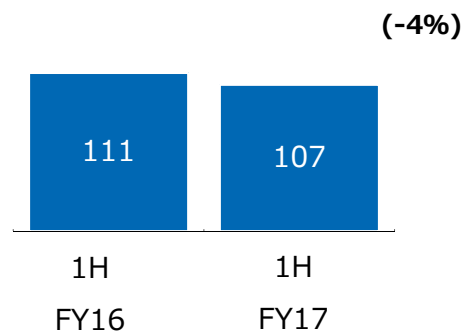
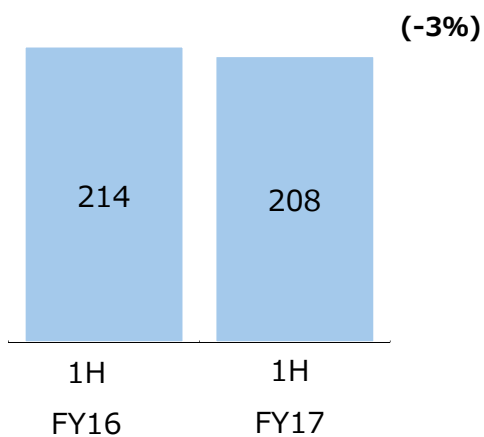


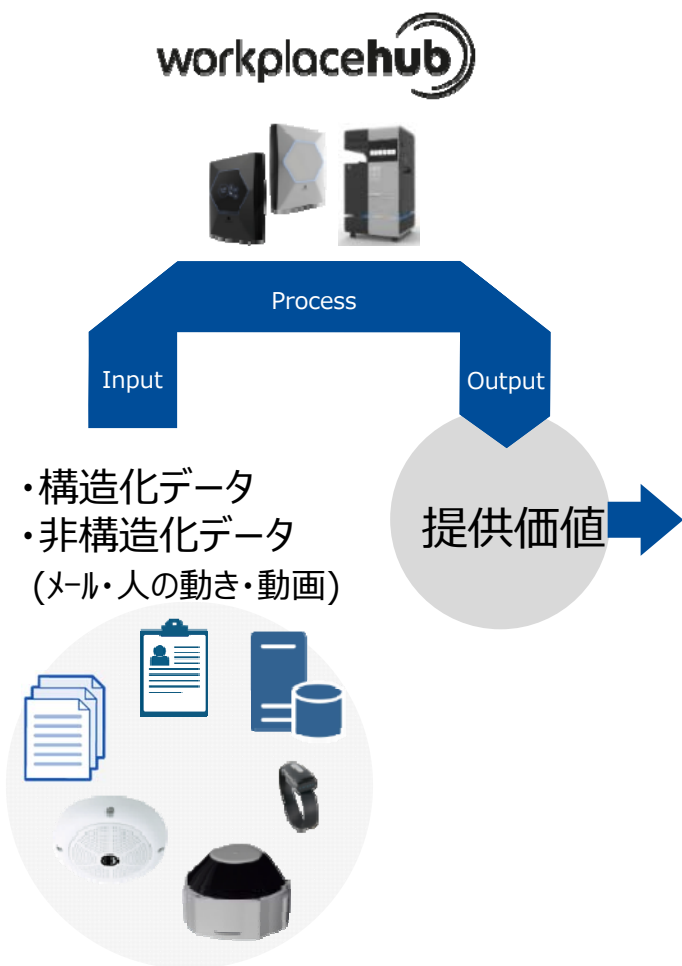
材料・コンポーネント 【億円】

機能材料

光学コンポーネント

IJコンポーネント





市場導入 スケジュール

- 18年1月 欧米から順次ローンチング

進捗

- 顧客環境・要望に確実に対応できるようプラットフォームとしての開発に注力し、ソフトウェアの対応力、堅牢性を高めている。

直近の成果

- 日本のCEATEC、欧米のディーラー・パートナーイベントに出展。市場の関心と期待の高さを確認。
- 関連ソリューションとしてRPAの商品化に目途。

展開計画

- 幅広い環境での働き方変革の実現に向けて、ラインアップの拡大、Marketplaceを活用したプラットフォーム展開、および自社コア技術を活用したIoT展開などを準備中。

全社取組み

粗利率改善：付加価値販売、製造

- 付加価値販売の徹底強化
- 製造原価低減：マレーシアの成果を横展開
- サービス原価低減：リモートサービス、故障予知の拡大

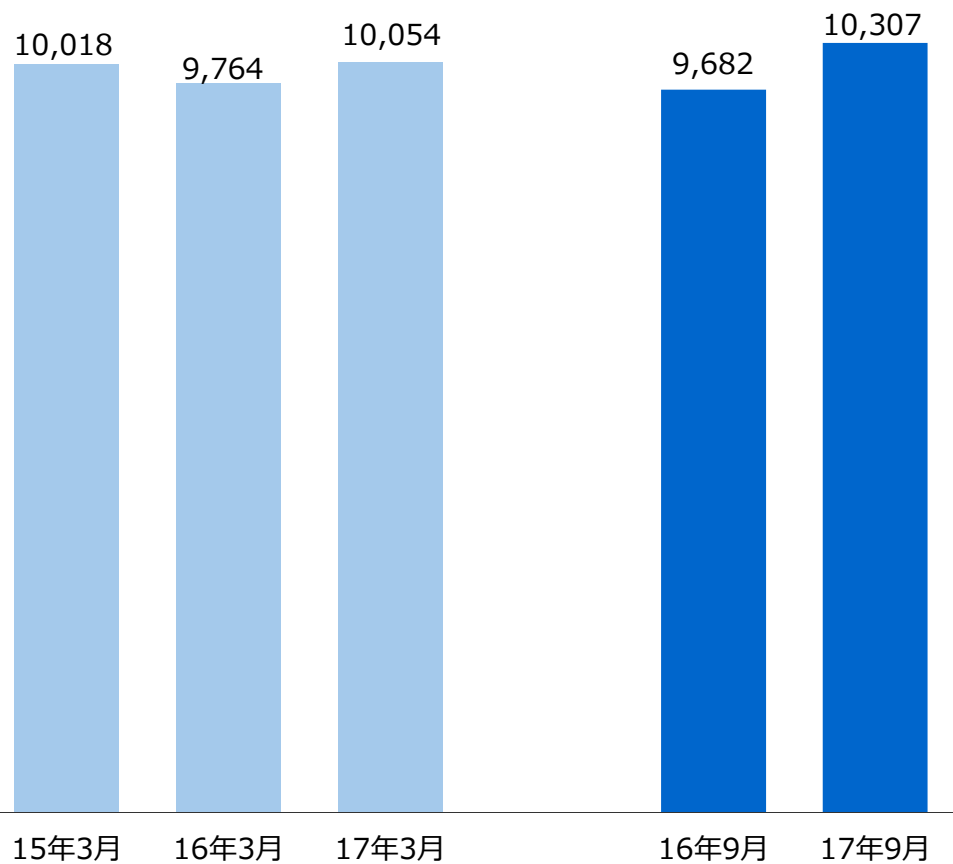
販管費改善

- 管理間接：RPA活用など最新のICT活用による業務生産性の向上
- グローバル運営体制：効率化、スリム化の推進、アジャイルな対応力強化

オフィス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 欧米で付加価値販売を強化し、2Qからの販売モメンタムを維持。 ■ Q3発売の高速カラーMFP新製品の拡販による平均売価向上とプリント ボリューム拡大。
プロフェッショナル プリント	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクションプリント：カラー最上位機の本格販売。出力調整機能で差別化し、商業印刷顧客への販売加速、高プリントボリュームの獲得。 ■ 産業印刷：好調な北米事例の水平展開。専任販売体制の成果出し加速。
ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> ■ DR：大手パートナーとの販売協業をレバレッジにした販売数量拡大。 ■ 超音波：日本は整形以外の診療科へ拡大、中国など海外の拡販継続。 ■ 医療IT：日米で強化した販売及び顧客への実装体制強化の成果出し。
産業用光学システム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計測機器：需要獲得に向けた顧客アプローチ強化。 ■ 外観検査事業化の加速。
材料コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機能材料：好調な耐水型新VA-TACの販売数量維持、IPS用Zero-TAC、中小型パネル向け薄膜製品の販売拡大。

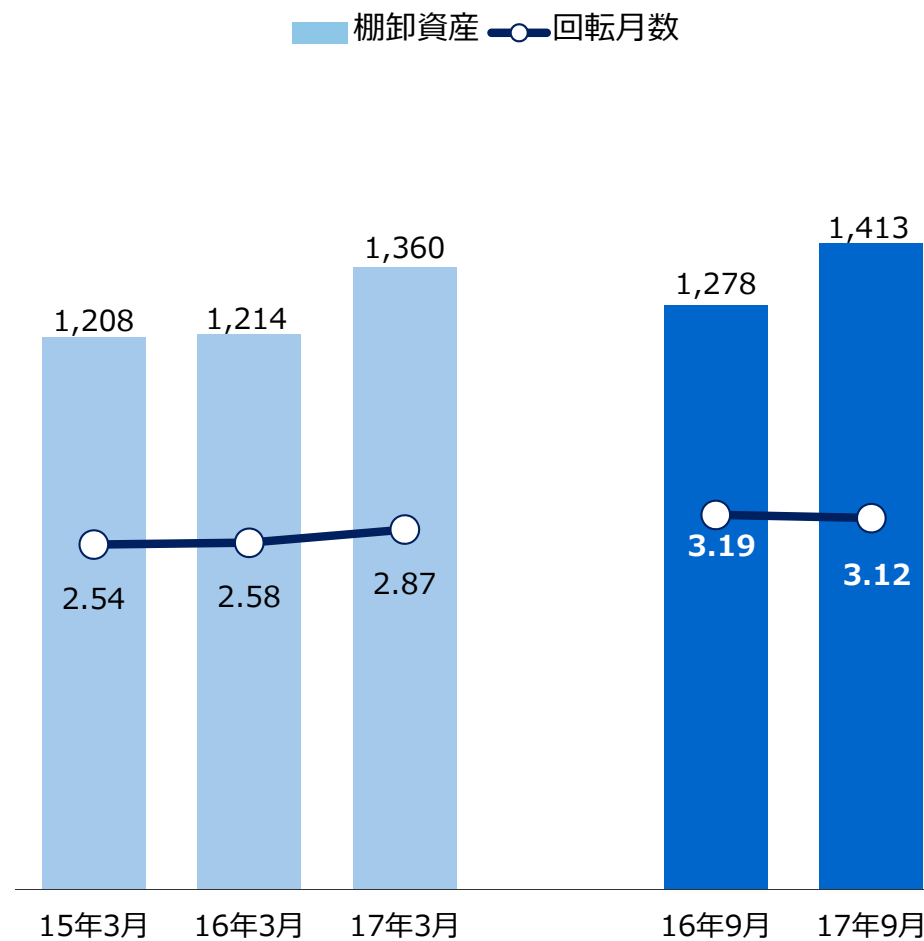
資産合計（総資産）

【億円】



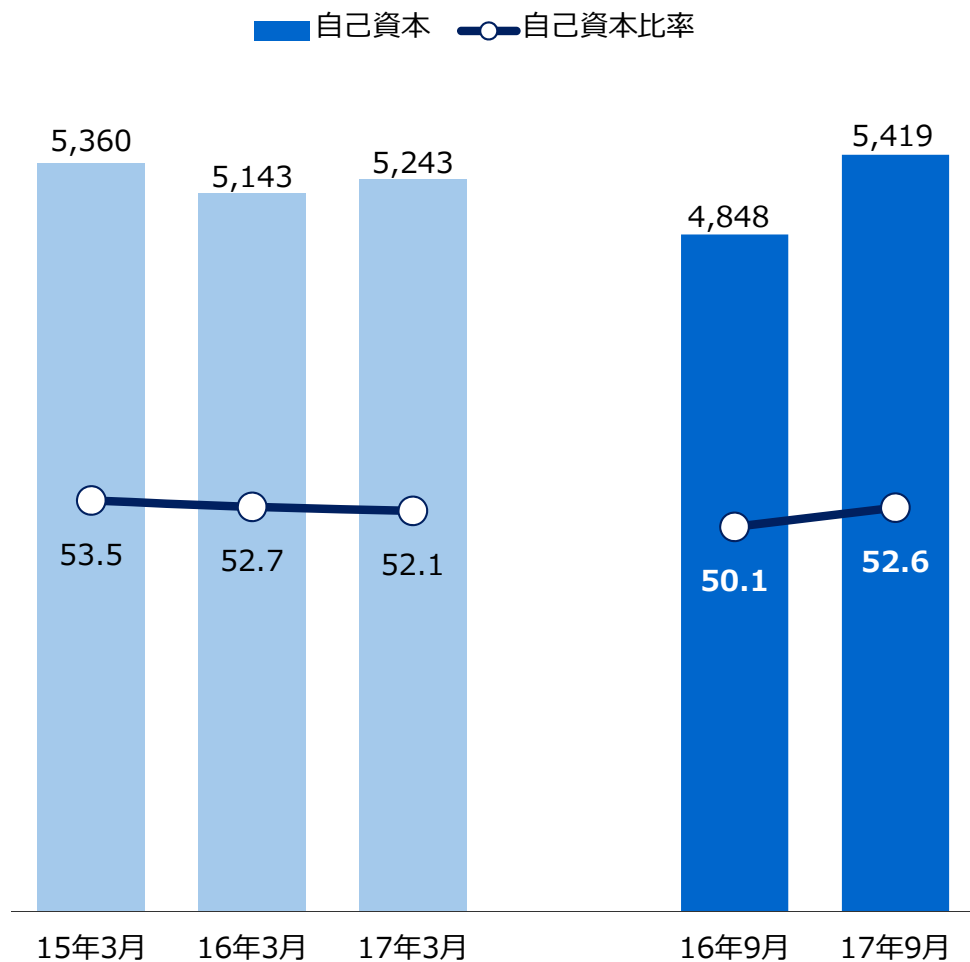
棚卸資産・回転月数

【億円】



* 棚卸資産回転月数 = (当期末棚卸資産残高) / (直近3カ月の平均売上原価)

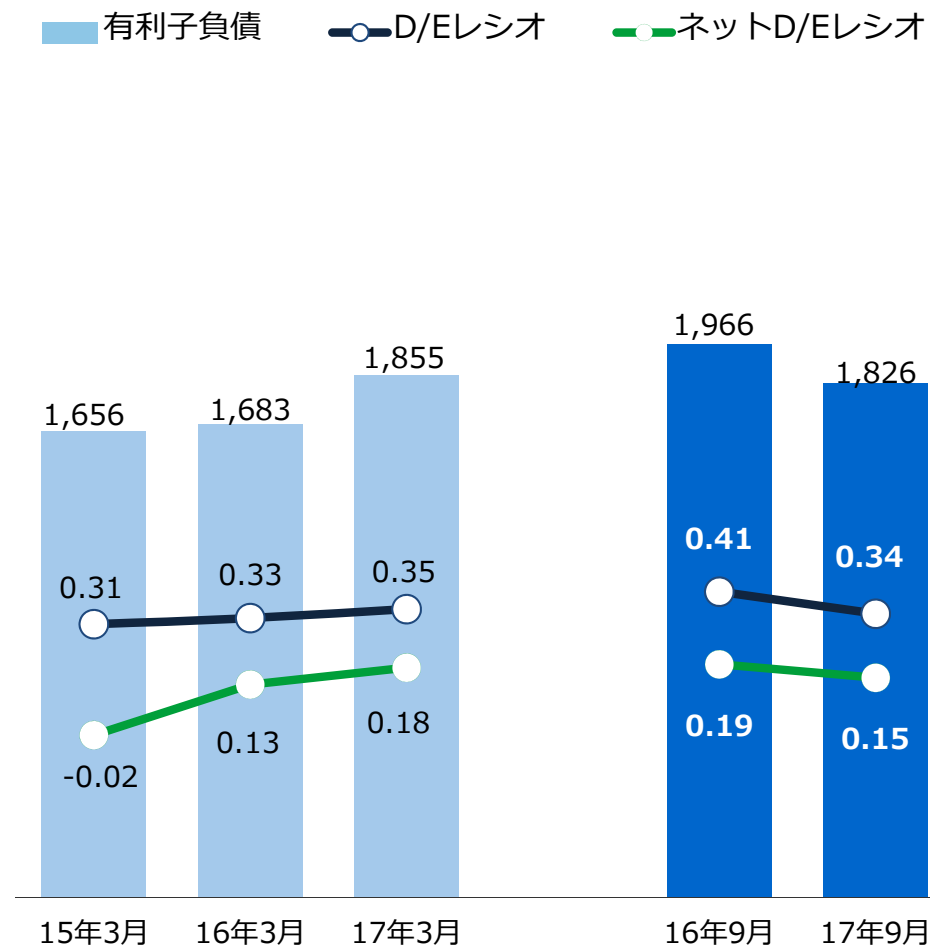
自己資本・自己資本比率 【億円】



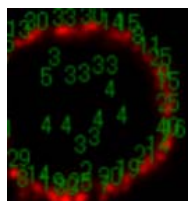
自己資本=親会社の所有者に帰属する持分

自己資本比率=親会社の所有者に帰属する持分/総資本

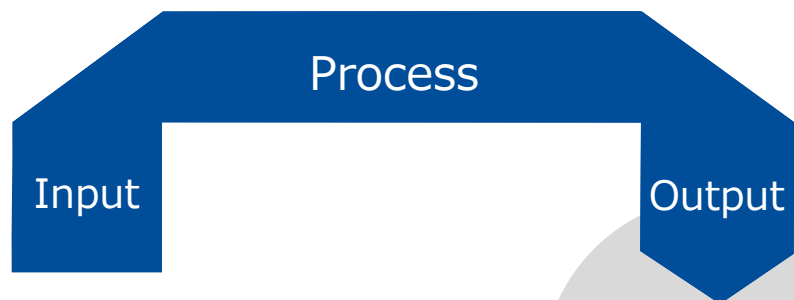
有利子負債・D/Eレシオ 【億円】



バイオヘルスケア戦略

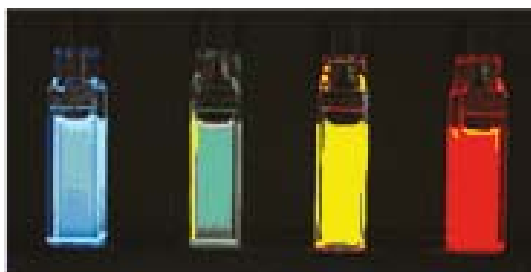


癌細胞の特定タンパク質の数・位置見える化



蛍光ナノ粒子
(PID : Phosphor Integrated Dots)
・高輝度
・高耐久性

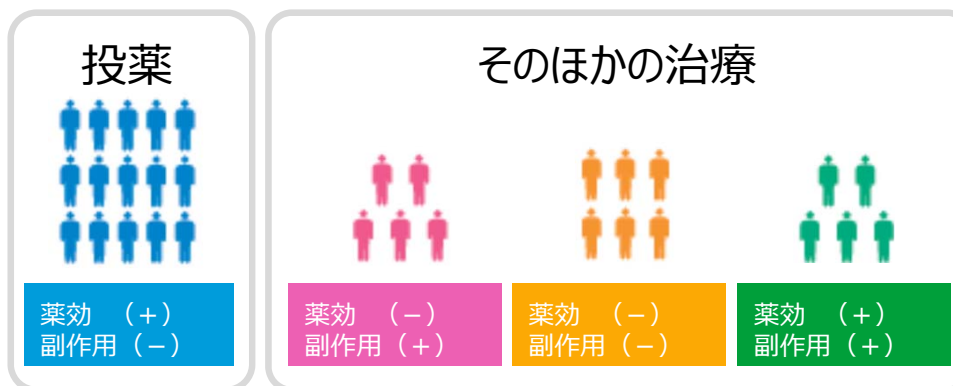
提供価値



- 個別の患者に応じた投薬有効性
- 創薬の成功率向上



患者の層別化



「患者の生存率・生活の質向上」
「医療費負担軽減」の両方に貢献



米国の遺伝子検査市場をリード

本社：米国カリフォルニア州 産業革新機構との共同出資
2017年7月 買収契約締結、10月 クロージング完了



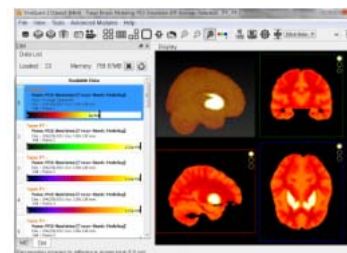
- 最先端の正確な遺伝子診断技術
- バイオインフォマティクスを駆使した高度なIT解析技術
- 最新鋭・大規模な検体検査ラボ
- 高収益なサービス事業

※以降、AG社と表記



イメージングCROを中心にサイエンスに強み

本社：米国ボストン
2017年9月 買収契約締結、11月 クロージング予定



Analyze



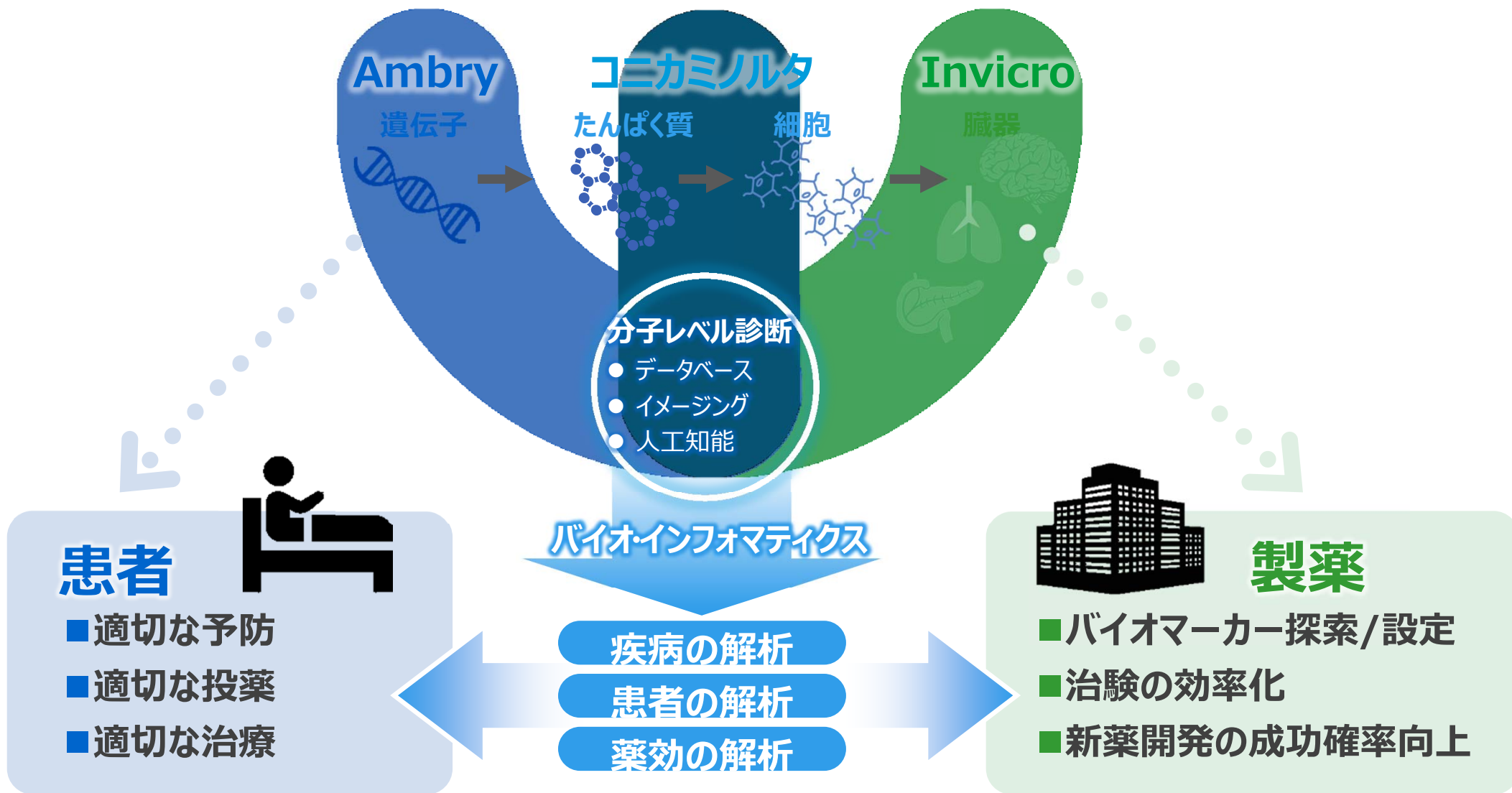
Acquire

- 製薬企業の創薬・治験支援への提案力とチャネル
- 高い成長力、買収候補の目利き力
- 医工学とビジネスの優秀な人財へアクセス
- 最新のイメージング&IT

※以降、IC社と表記

* CRO: 医薬品受託開発
© 2017 Konica Minolta, Inc. 21

2社との技術の融合、確立しているGO TO MARKETを生かし、事業の実行フェーズへ



取得金額

- AG社株式取得対価 : 800百万ドル
 - AG社業績連動型アーンアウト : 200百万ドル (最大)
- IC社取得金額 : 320億円 (95%持分取得対価、為替1ドル=110円換算)

当社の出資比率

- AG社 : 60% (産業革新機構 (INCJ) 40%)
- IC社 : 95%

資金調達の方法

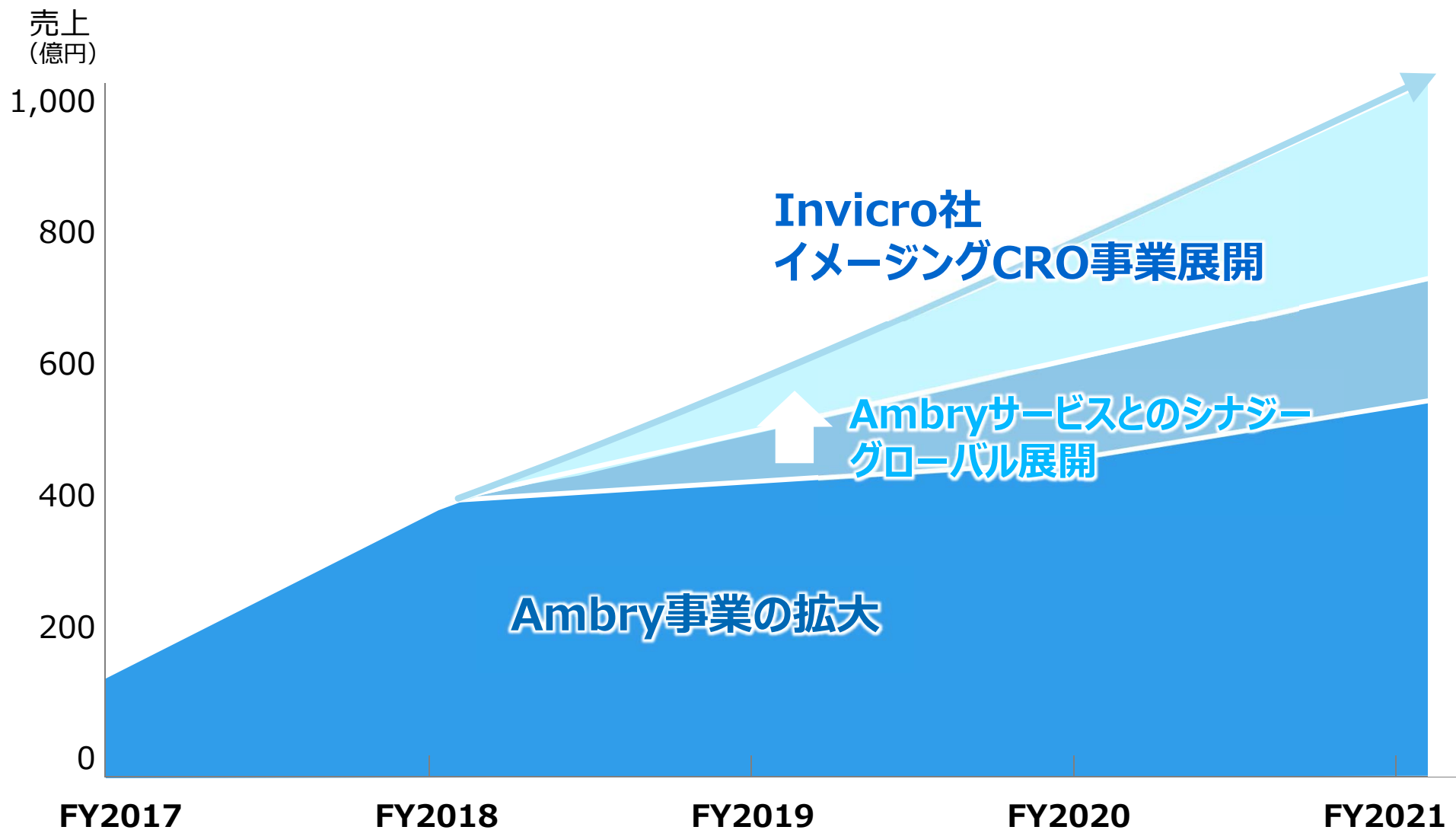
- 手元資金及びハイブリッドローンで調達した資金を充当。

財務への影響

- のれん計上額、無形資産固定資産償却等の影響は買収完了後に公表予定。

今後のスケジュール

- AG社は、予定通り、2017年10月にクロージング完了、当社連結業績には2017年度第3四半期から反映予定。
- IC社は2017年11月にクロージング完了予定。



Appendix

2017年度上期 業績詳細

【億円】

	FY17 上期	FY16 上期	前年 同期比	FY17 2Q	FY16 2Q	前年 同期比
売上高	4,881	4,620	+ 6%	2,558	2,328	+ 10%
売上総利益	2,319	2,270	+ 2%	1,199	1,128	+ 6%
(売上総利益率)	47.5%	49.1%	-	46.9%	48.4%	-
営業利益	205	185	+ 10%	118	96	+ 22%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	-	4.6%	4.1%	-
税引前利益	191	175	+ 9%	109	90	+ 21%
(税引前利益率)	3.9%	3.8%	-	4.2%	3.8%	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	135	132	+ 2%	81	69	+ 19%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	2.8%	2.9%	-	3.2%	2.9%	-
E P S (円)	27.29	26.73		16.47	13.84	
設備投資額	161	174		79	96	
減価償却費及び償却費	271	254		135	127	
研究開発費	375	362		190	179	
FCF	199	△ 139		285	113	
投融資	25	364		14	41	
為替レート [円] USD	111.06	105.29	5.77	111.03	102.43	8.60
euro	126.29	118.15	8.14	130.38	114.28	16.10

2017年度業績見通し 全社業績要約

	【億円】			
	17年度 業績見通し(今回)	17年度 業績見通し(従来)	16年度 実績	前年 同期比
売上高	10,000	9,800	9,626	+ 4%
営業利益	480	460	501	- 4%
(営業利益率)	4.8%	4.7%	5.2%	
税引前利益	460	445	493	- 7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	310	300	315	- 2%
(親会社の所有者に帰属する当期利益率)	3.1%	3.1%	3.3%	
EPS (円)	62.64	60.53	63.65	
ROE* (%)	6.0%	5.8%	6.3%	
設備投資額	550	550	389	
減価償却費及び償却費	550	550	518	
研究開発費	790	790	733	
FCF (17年度予想は投融資を含めない)	450	450	△ 19	
*投融資(17年度の計画)	950	400	367	
為替レート [円] USD	105.00	105.00	108.38	
euro	120.00	115.00	118.79	

ROE：親会社の所有者に帰属する当期利益／資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計（期首・期末平均）

※従来見通しは2017年5月11日公表

2017年度業績見通し セグメント別売上高・営業利益

【億円】

売上高	17年度 業績見通し(今回)	17年度 業績見通し(従来)	16年度 実績	前年 同期比
オフィス事業	5,650	5,450	5,582	+ 1%
プロフェッショナルプリント事業	2,100	2,200	2,040	+ 3%
ヘルスケア事業	950	950	899	+ 6%
産業用材料・機器事業	1,200	1,100	1,016	+ 18%
産業用光学システム	400	350	293	+ 36%
材料・コンポーネント	800	750	722	+ 11%
新規事業・コーポレート・連調	100	100	89	-
全社合計	10,000	9,800	9,626	+ 4%

営業利益（右側：営業利益率）	17年度 業績見通し		17年度 業績見通し		16年度 実績		前年 同期比
オフィス事業	470	8.3%	450	8.3%	434	7.8%	+ 8%
プロフェッショナルプリント事業	110	5.2%	120	5.5%	93	4.5%	+ 19%
ヘルスケア事業	65	6.8%	55	5.8%	29	3.2%	+ 127%
産業用材料・機器事業	195	16.3%	165	15.0%	220	21.7%	- 12%
新規事業・コーポレート・連調	△ 360		△ 330		△ 274		-
全社合計	480	4.8%	460	4.7%	501	5.2%	- 4%

*16年度については新規開示セグメントに組替しています。

2017年度上期 セグメント別売上高/営業利益

売上高

営業利益

【億円】

FY16/1H

FY17/1H

FY16/1H

FY17/1H

4,620

4,881

(-4%)

185

205

(+88%)

新規事業・コーポレート他

48

46

(-1%)

産業用材料・機器事業

64

120

材料・コンポーネント

373

368

(+83%)

ヘルスケア事業

12

産業用光学システム

127

232

(+3%)

ヘルスケア事業

43

(+134%)

プロフェッショナル

971

1,012

(+4%)

プロフェッショナル

24

(-43%)

プリント事業

2,688

2,796

(+4%)

オフィス事業

217

202

(-7%)

オフィス事業

新規事業・
コーポレート他

△ 151

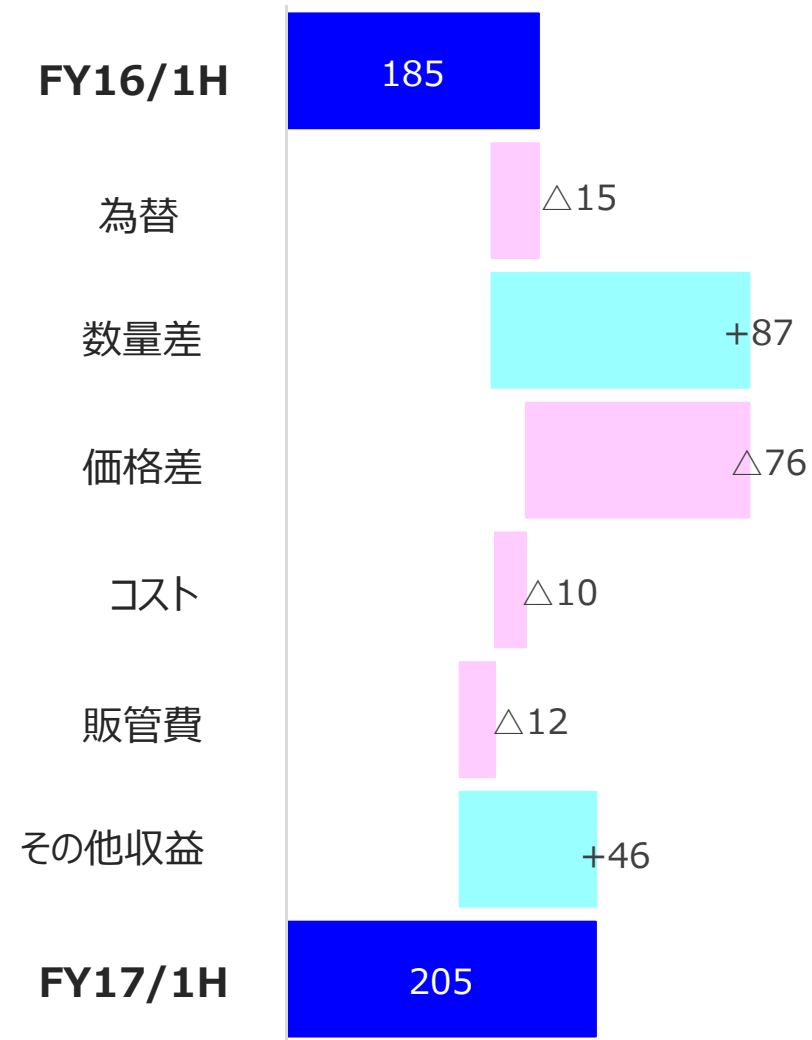
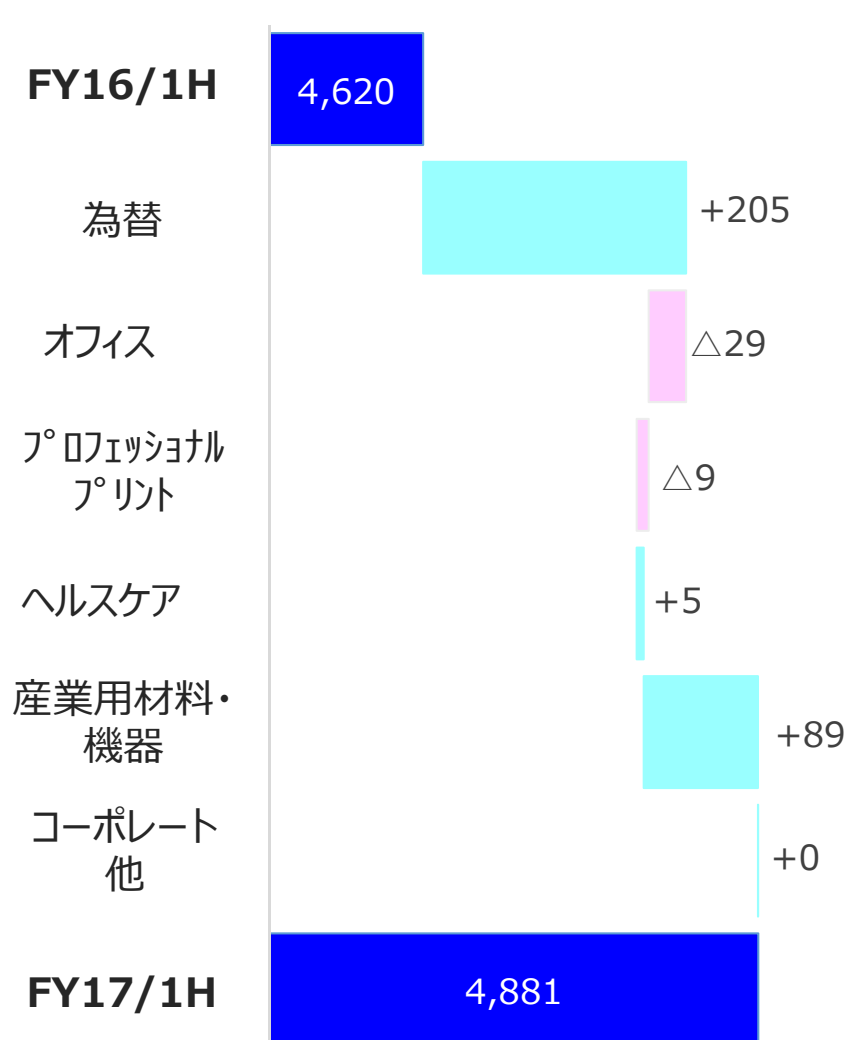
△ 170

2017年度上期 売上高/営業利益 増減分析

売上高

営業利益

【億円】



2017年度 上期 セグメント別営業利益増減分析

前年同期比較 (FY17/上期 vs. FY16/上期)

	オフィス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	産業用 材料・機器	新規事業・ コーポレート他	【億円】 合計
[要因]						
為替影響	△ 25	5	1	4	△ 0	△ 15
価格変動	△ 42	△ 17	△ 3	△ 14	0	△ 76
数量増減他	10	12	2	62	1	86
コストダウン	△ 15	0	1	4	0	△ 10
経費増減	14	△ 6	△ 4	△ 0	△ 15	△ 12
その他収益費用	43	△ 12	20	1	△ 6	46
[営業利益]						
増減額 (前年同期比)	△ 15	△ 19	17	56	△ 20	19

前年同期比較 (FY17/2Q vs. FY16/2Q)

	オフィス	プロフェッショナル プリント	ヘルスケア	産業用 材料・機器	新規事業・ コーポレート他	合計
[要因]						
為替影響	△ 1	7	2	4	△ 1	10
価格変動	△ 34	△ 12	△ 1	△ 4	-	△ 51
数量増減他	24	△ 5	2	32	△ 1	53
コストダウン	3	△ 1	1	△ 1	-	1
経費増減	3	2	△ 0	△ 1	△ 12	△ 9
その他収益費用	50	△ 9	20	0	△ 45	17
[営業利益]						
増減額 (前年同期比)	45	△ 18	23	30	△ 59	21

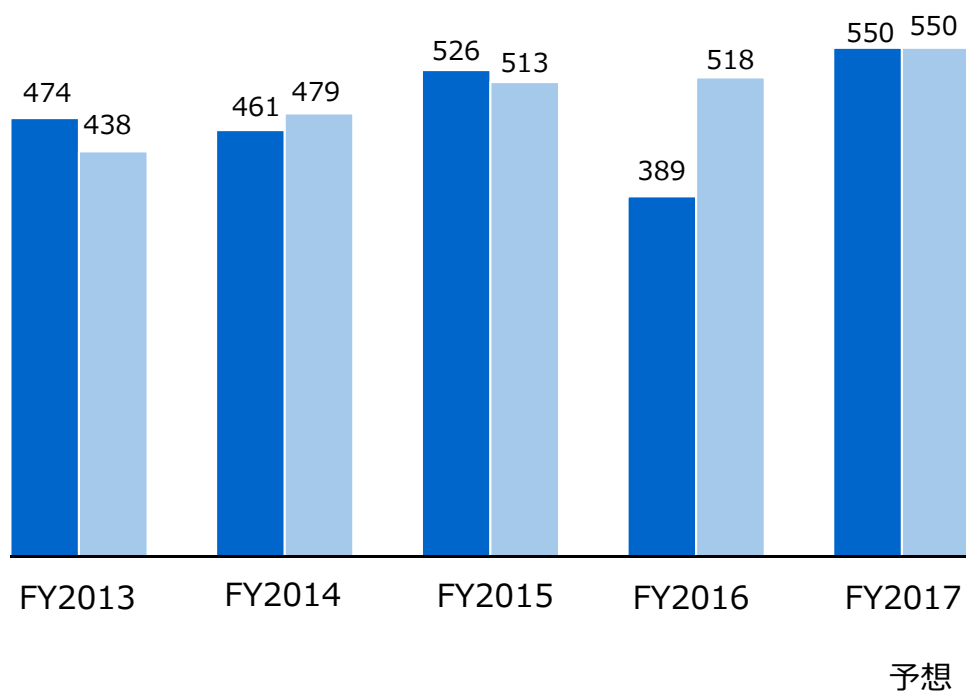
販売管理費・その他の収益・費用及び金融収支明細

	【億円】					
	FY17 上期	FY16 上期	前年 同期比	FY17 2Q	FY16 2Q	前年 同期比
販売管理費						
販売変動費	237	237	△ 0	125	116	10
研究開発費	375	362	13	190	179	11
人件費	984	948	37	498	465	33
その他	554	526	28	277	260	16
販売管理費 計	2,151	2,073	78	1,090	1,020	70
	*為替影響額 :			+66億円 (除く為替 +12億円)		
				+61億円 (除く為替 +9億円)		
その他の収益						
有形・無形資産売却益	111	1	110	71	1	70
特許関連収入	-	-	-	-	-	-
その他収益	18	18	1	11	5	6
その他の収益 計	129	19	110	82	6	76
その他の費用						
有形・無形資産除売却損	3	4	△ 1	2	3	△ 1
退職特別加算金	51	-	51	46	-	46
その他費用	38	27	11	25	13	12
その他の費用 計	93	31	61	73	17	56
金融収支						
受取利息・受取配当金-支払利息	△ 3	△ 1	△ 1	△ 4	△ 2	△ 2
為替差損益	△ 9	△ 7	△ 3	△ 5	△ 4	△ 1
その他	△ 1	△ 1	△ 0	△ 1	△ 1	0
金融収支 計	△ 14	△ 10	△ 4	△ 9	△ 6	△ 3

設備投資・減価償却費及び償却費

【億円】

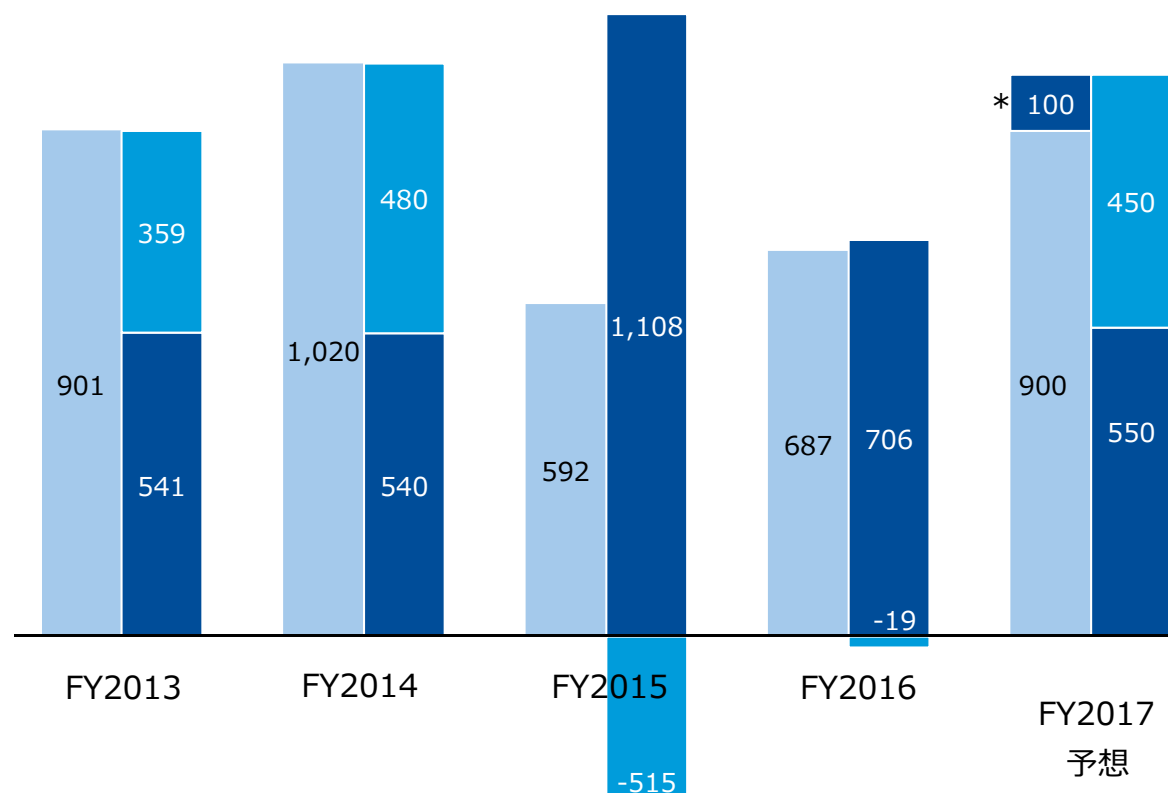
■ 設備投資 ■ 減価償却費及び償却費



フリーキャッシュフロー

【億円】

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー

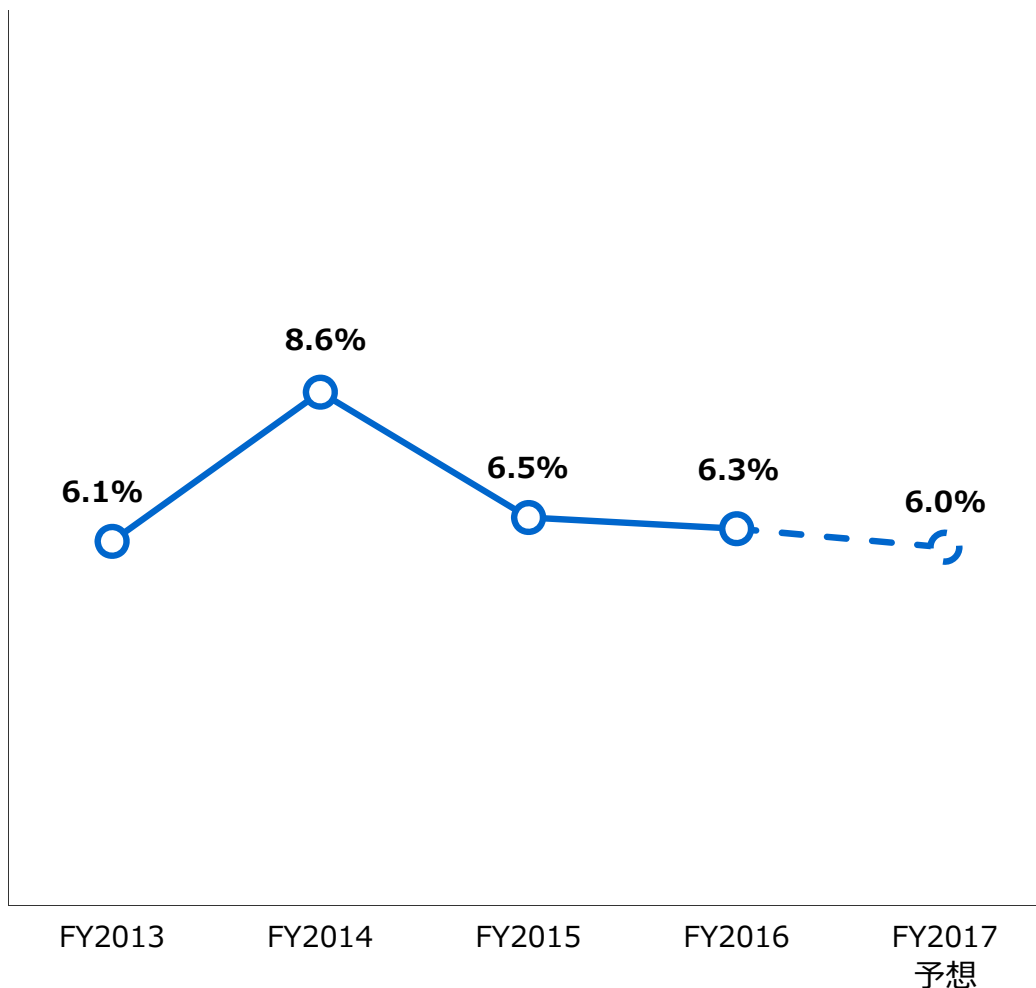


*資産流動化施策
*FCF 17年度予想は投融資を含めない

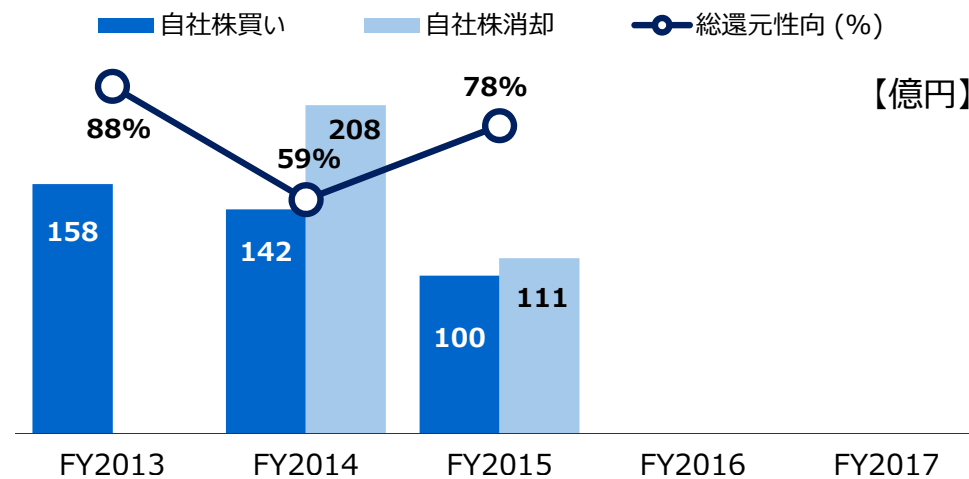
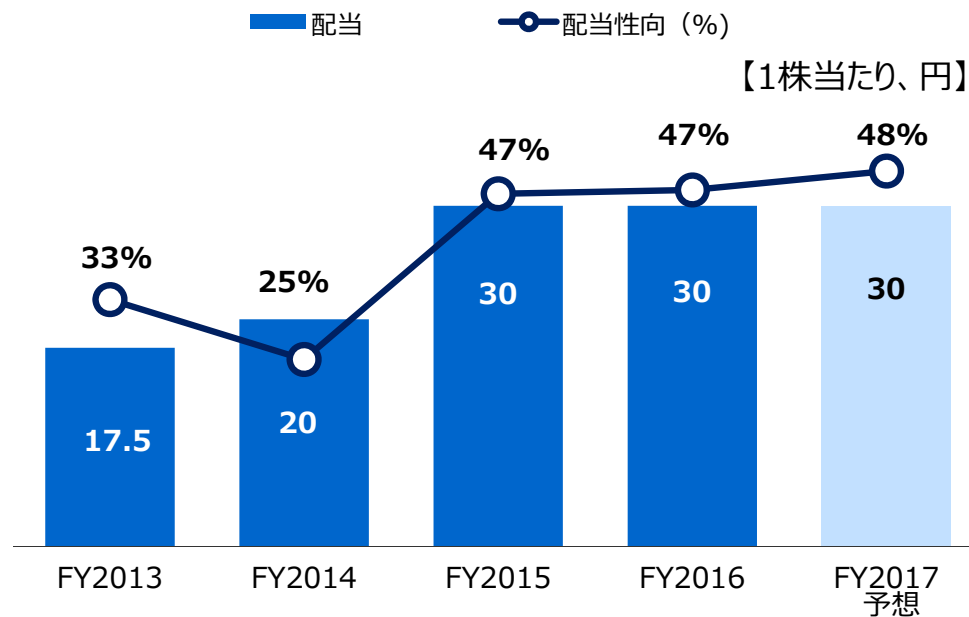
ROE/株主還元 (配当・配当性向・自社株買い)

ROE

ROE : 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 資本金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式の合計 (期首・期末平均)



配当・配当性向・自社株買い



オフィス事業/プロフェッショナルプリント事業 販売状況（四半期推移）

■ 地域別売上高構成比（円貨ベース）

	FY2015				FY2016				FY2017	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
日本	12%	12%	12%	13%	13%	12%	13%	13%	13%	13%
北米	33%	34%	34%	33%	32%	34%	33%	32%	34%	34%
欧州	37%	36%	38%	38%	37%	36%	36%	38%	36%	36%
その他	18%	18%	17%	16%	18%	18%	18%	16%	17%	17%

■ 地域別売上高増減（為替除く）

	FY2015				FY2016				FY2017	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
日本	+1%	+1%	+1%	-0%	-1%	-1%	-1%	-2%	+2%	+0%
北米	+5%	+1%	+3%	+0%	+2%	+3%	+6%	-3%	+2%	+3%
欧州	+3%	+0%	+3%	+2%	+4%	+4%	+9%	+4%	-1%	+2%
その他	+20%	-3%	-4%	-1%	+4%	+7%	-12%	-1%	-10%	-8%

■ ハード売上に占めるカラー比率

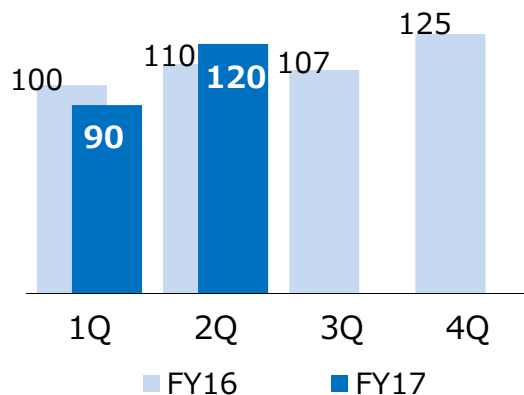
	FY2015				FY2016				FY2017	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
オフィス	68%	66%	71%	71%	71%	72%	72%	72%	69%	72%
PP	68%	71%	73%	73%	74%	73%	73%	72%	78%	76%

オフィス事業/プロフェッショナルプリント事業 主要製品販売状況（四半期推移）

■ A3カラー-MFP 販売台数*

YoY : +9%

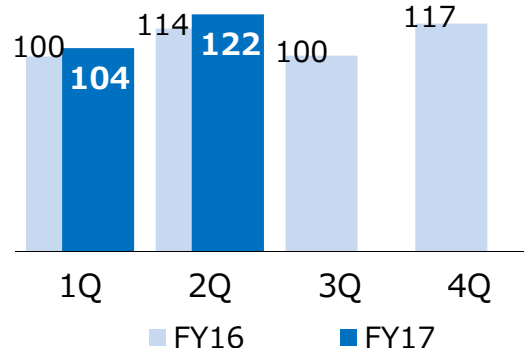
QoQ : +32%



■ A3モノクロMFP販売台数

YoY : +6%

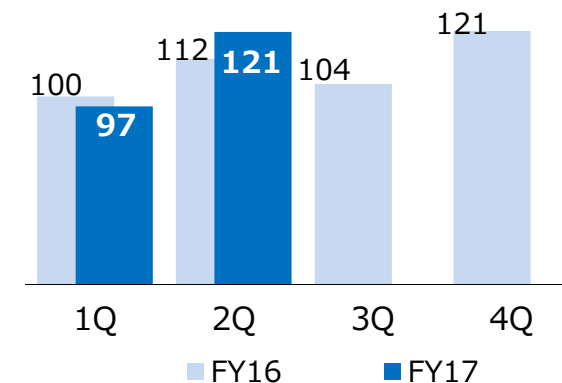
QoQ : +17%



■ A3MFPトータル 販売台数*

YoY : +8%

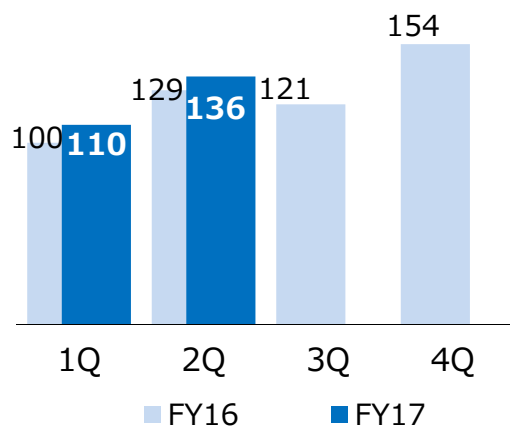
QoQ : +25%



■ カラープロダクションプリント 販売台数*

YoY : +6%

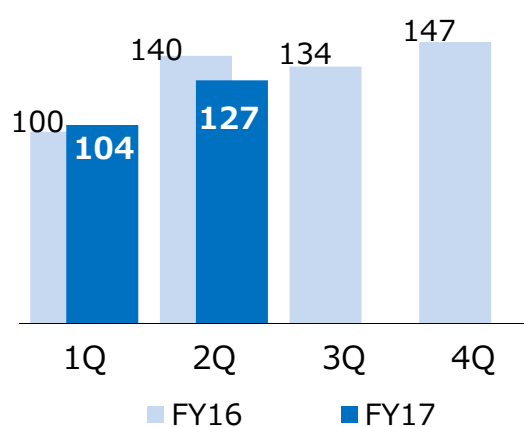
QoQ : +24%



■ モノクロプロダクションプリント販売台数

YoY : △9%

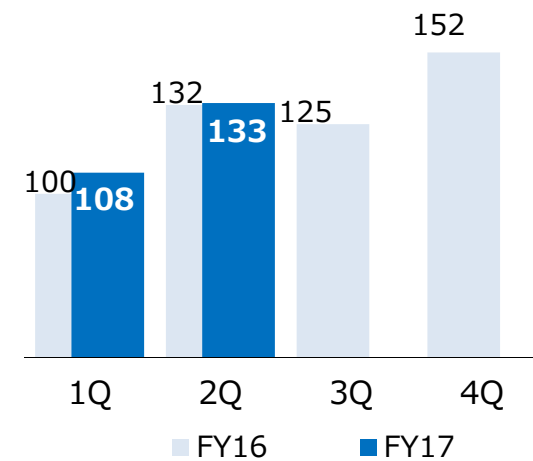
QoQ : +23%



■ プロダクションプリントトータル販売台数

YoY : +1%

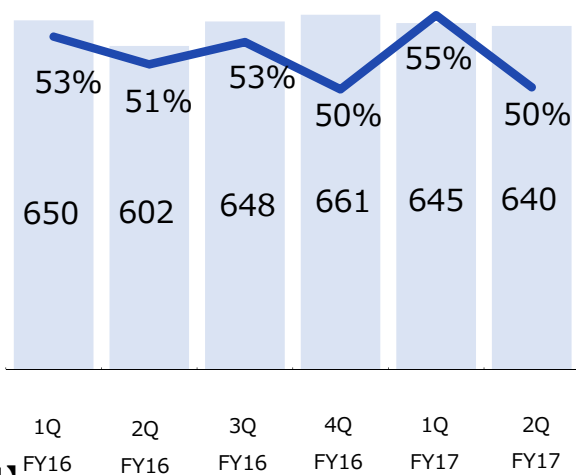
QoQ : +24%



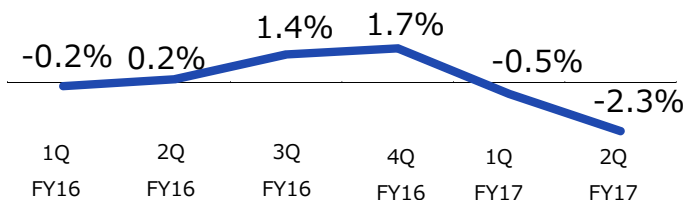
オフィス事業/プロフェッショナルプリント事業 ノンハード売上

ノンハード売上高・ノンハード比率

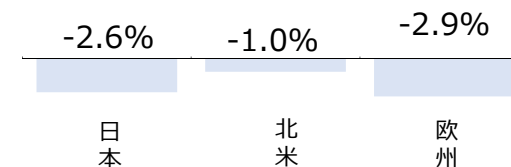
■ オフィスプロダクト



【対前年同期】

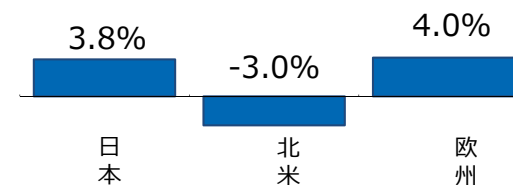
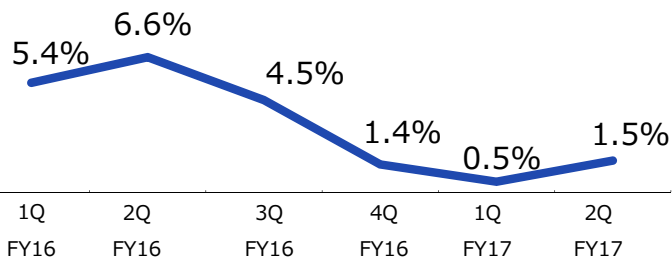
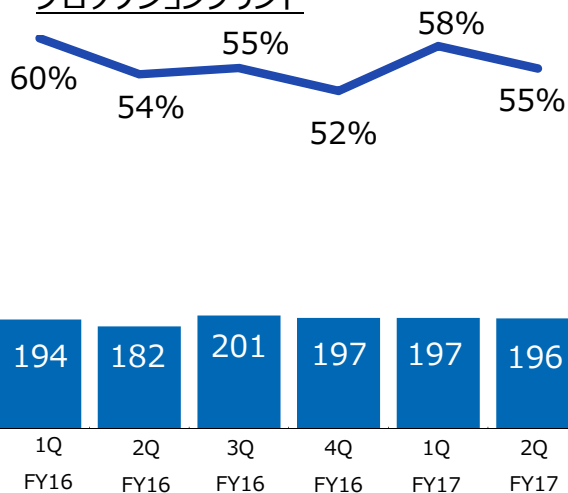


【地域別】



【億円】

■ プロダクションプリント



【億円】

主な通貨の為替レートと収益影響度

【為替レート：円】

【影響額、感応度：億円】

	FY16	FY17	対前年影響額		為替感応度*2	
	上期	上期	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	105.29	111.06	+ 87	+ 6	+ 30	+ 0
ユーロ	118.15	126.29	+ 71	+ 17	+ 19	+ 8
ポンド	144.88	143.61	△ 2	△ 0	+ 3	+ 1
欧州通貨*1	—	—	+ 85	+ 17	+ 26	+ 11
人民元	15.94	16.42	+ 8	△ 1	+ 27	+ 7
豪ドル	79.08	85.52	+ 13	+ 3	+ 4	+ 1
その他通貨	—	—	+ 13	+ 7	—	—
予約影響額	—	—	—	△ 46	—	—
合計			+ 205	△ 15		

*1欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

*2為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

2017年度開示セグメント変更

現行セグメント	
情報機器事業	オフィスサービス ■ ITサービス・ソリューション ■ オフィス
	商業・産業印刷 ■ 産業印刷 ■ MPM・プリントサービス ■ プロダクションプリント
ヘルスケア事業	■ デジタル (CR / DR / IT) ■ アナログ他
産業用材料・機器事業	産業用光学システム ■ 計測機器 ■ 産業・プロ用レンズ ■ その他
	機能材料
コーポレート他	



新セグメント	
オフィス事業	■ ITサービス・ソリューション ■ オフィス
プロフェッショナルプリント事業	■ 産業印刷 ■ マーケティングサービス ■ プロダクションプリント
ヘルスケア事業	■ ヘルスケア (画像診断) ■ 医療IT
産業用材料・機器事業	産業用光学システム ■ 計測機器 ■ 映像ソリューション(プラネタなど)
	材料・コンポーネント ■ 機能材料 (+OLED・素材) ■ 光学コンポーネント ■ IJ (Inkjet)コンポーネント
新規事業・コーポレート他	

■ 基盤事業	■ 成長事業	■ 新規事業
--------	--------	--------

2016年度業績：（新セグメントによる四半期推移）

[億円]	FY16				FY17	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
【売上高】						
オフィス事業	1,362	1,325	1,385	1,509	1,330	1,465
プロフェッショナルプリント事業	475	496	511	558	490	522
ヘルスケア事業	185	229	220	266	195	233
産業用材料・機器事業	249	251	241	275	287	313
産業用光学システム	70	57	61	105	117	115
材料・コンポーネント	179	194	180	170	170	198
新規事業・コーポレート・連調	21	26	20	21	21	25
全社合計	2,291	2,328	2,377	2,629	2,324	2,558
【営業利益】						
オフィス事業	114	103	96	121	53	148
プロフェッショナルプリント事業	16	27	25	25	16	9
ヘルスケア事業	2	10	3	14	-5	34
産業用材料・機器事業	34	30	104	53	61	59
新規事業・コーポレート・連調	-77	-74	-68	-55	-38	-132
全社合計	89	96	159	157	87	118

- **MPM: Marketing Production Management (オフィス事業)**
販促物のサプライチェーン(デザイン/印刷/発送/在庫管理)最適化を目指すサービス。2012年にイギリスのCharterhouse、2014年にオーストラリアのErgoを買収。
- **DR: Digital Radiography (ヘルスケア事業)**
デジタルX線ともいう。レントゲン撮影時のX線強度分布をデジタル変換処理を加えてデータ化する手法/システム。
- **PACS: Picture Archiving and Communication System (ヘルスケア事業)**
医療画像処理における画像保存通信システム。DRやCR等のX線画像やCT、MRIなど大容量の画像管理システムの総称。
- **有機EL: Organic Electro Luminescence (産業用材料・機器事業)**
OLEDともいう。電圧をかけると有機物が光る現象を使って照明やディスプレイ製品などに利用される。
- **キンコース : キンコース・ジャパン株式会社 およびキンコース・コリア株式会社**
高い提案力と営業力で大都市圏中心にオンデマンド出力サービスを展開。2012年キンコース・ジャパン、2013年にキンコース・コリアを買収。
- **MGI : MGI Digital Graphic Technology (プロフェッショナルプリント事業)**
フランスに本社を持つ出力機器メーカー。2014年に資本・業務提携を行い、2016年からは連結子会社化。加飾印刷など特殊技術を必要とし、顧客ニーズに密着したユニークな製品を、欧州を中心に北米、アジアへとグローバルに事業展開。
- **Workplace Hub (WPH) : (新規事業)**
当社が新たに注力していくIoTビジネスのベースとなるプラットフォーム。MFP機能の上にサーバーを搭載して、リアルタイムでデータを分析、パターン可視化し、ITインフラ管理コストの削減、ビジネスプロセス効率化に役立つソリューションを提供。人とデータを結び付け、オフィスでの意思決定や問題解決の支援をよりスマートに実現する。
- **プレジジョン・メディシン (個別化医療) : (新規事業)**
最先端の技術を用い細胞を遺伝子・タンパクレベルで分析し、個人レベルで最適な治療法および薬を投与し治療を行う。



KONICA MINOLTA